

三洋物産インターナショナルライフセービングカップ2008

INTERNATIONAL LIFESAVING CUP 2008

日本Aが総合2位に

三洋物産 インターナショナルライフセービングカップ 2008 (後援・日刊スポーツ新聞社) が7日、千葉・御宿中央海岸特設会場で開催された。オーストラリア、南アフリカ、米、英国、そして日本(A代表、U-22代表)の計5カ国のチームが参加。ビーチフラッグスなどの7種目で競い合った。途中、雨に見舞われることもあったが、風も波

も穏やかなベストコンディション。そんな中、最初の種目のレスキューチ



女子ビーチフラッグスで優勝した遊佐は金メダルを胸に喜ぶ

ュープレスキューで日本は男子A代表が1位を獲得。女子もA代表が2位と幸先良くスタートした。

◆総合成績 ①オーストラリア252P ②日本A代表220P ③米 202P ④英国155P

④日本U-22代表185P ⑤南アフリカ182P ⑥英国155P

その後も活躍を続け、ビーチフラッグスでは、男子の本多辰也(32)と女子の遊佐雅美(34)がアベックで表彰台の頂点を独占。7月にドイツで行われた世界大会「レスキュー2008」でも同種目でチャンピオンとなった遊佐は「世界大会後はコンディションを整えるのに苦労しましたが、優勝できてうれしい」と喜んだ。

総合成績はオーストラリアが大会3連覇を飾る一方、日本は一昨年、昨年の3位から2位へ見事にランクアップ。U-22代表も4位に入る健闘を見せた。